



参加者全員で記念撮影

## 「大代小学校」閉校

今回の統合により「大代小学校」が閉校となり137年の歴史に幕を閉じました。

大代小学校は明治7年に大家小学校、明治8年に八代小学校が設立され、大代地区における初等教育が始まりました。その後、教育制度の変更や市町村合併による名称変更が行われ、昭和32年に大田市立大代小学校となり、これまで多くの歴史と伝統を残してきました。昭和33年度には全児童318人いた同小も以後、児童数が減少し、平成23年度は6人、3クラスの複式学級となっていました。

また、肌寒い3月18日、閉校式を大代小学校体育館で行い、在校生をはじめ地元住民など約300人が出席しました。

また、閉校式の後に地元実行委員会主催によるお別

れ会「きづな」が開催されました。児童6人全員がステージに上がり、これまで学習してきた「ギフチョウの観察」や「ミツマタを使った紙すき体験」、「ゆずこしょうづくり」に「ソバ打ち体験」などを大代の自然と地域の皆さんの指導で学んだ成果を発表。そして、来賓として招かれた卒業生もあいさつ。それぞれの小学校の思い出話に、しばし目を閉じ懐かしさに浸る姿も…。

また、閉校を記念して児童や教職員を中心に、地域のみなさんに協力をいただきながら作ってきたタイル壁画の除幕も行われました。この壁画は小学校の正面玄関に飾られており、大江高山と小学校を背に神輿を元氣いっぱいに担ぐ子どもたちが描かれています。原画は卒業生の森守さん（大代町）、壁画の木杵も卒業生の森下孝明さん（祖式町）が作られました。



大代小の全校児童とタイル壁画

## 新「高山小学校」開校

今回の統合は、「高山小学校・大代小学校統合準備協議会」が11ヶ月にわたり、統合に向けた諸課題を協議し、統合校舎の位置、名称、開校の時期、校歌、校章、通学方法、制服、体操服を決定しました。

桜の花がやっとはころび始めた4月9日、「高山小学校」と「大代小学校」の二校が統合された新「高山小学校」の開校式が行われました。

全児童41名（一年生4名、二年生4名、三年生8名、四年生8名、五年生8名、六年生9名）で新たな歴史を刻み始めました。

高山小学校の校区には大江高山をはじめとする豊かな自然、シツカク踊り、田植え囃子や花田植えといった貴重な地域文化や歴史、そして人々の知恵があります。高山小学校がこれまでどおり地域にとけ込み、地域と一体となった活動により、これらのすばらしさを子どもたちが引き継いでくれることを期待しています。



6年生全員での決意表明